

2022年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 安城商工会議所

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価											備考			
				目標①			目標②			得られた効果		ABCD評価				今後の展開・改善点等		
				指標	実績数値	達成率	指標	実績数値	達成率	総合評価	実態評価	自己評価	調査結果	満足度		補足	目標①	目標②
巡回・窓口相談指導事業	市内事業者の大半を占める小規模事業者並びに創業を予定する者への振興と安定に寄与することを目的に、経営の改善発達を支援する事業を推進するに当たり、指導の方法として巡回・窓口による相談業務を行う。	・巡回窓口指導実企業数 1,222社 (内非会員数126社) ・巡回窓口指導延企業数 2,763社 (内非会員数257社) ・課題解決提案実企業数60社 ・経営革新承認件数4件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 143.9%)	指標	課題解決提案件数 (達成度 100.0%)	窓口に指導を中心にコロナ対策支援や支援金申請サポートを行うことで、小規模事業者の経営改善を図ることができた。また課題解決では、問題抽出から各種指導を行い改善が図られた。	総合評価	A	実態評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	目標①②ともに達成したため、現行どおり実施する。
記帳継続指導	個人事業主を対象に正しい記帳方法と決算・確定申告の指導を行い、適正な税務申告と決算財務分析による経営力の向上を支援する。	・指導対象者数 76人 ・指導延日数 528日 ・指導延回数 699回	小規模事業者	指標	記帳指導実企業数 (達成度 101.3%)	指標	(達成度 %)	小規模事業者に経理事務の省略化および的確な税務申告の向上と会計ソフトによるIT化やe-taxによる電子化が図られた。	総合評価	A	実態評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	目標①については達成したため、現行どおり実施する。
講習会等事業	金融、税務、経営一般、労務、創業、情報化、労務に対する講習会及び個別相談会を開催することにより、知識の習得や適性な申告を支援する。	講習会開催回数及び受講者数 ・集団 12回 137人延べ221人(うち経営革新1回4人) ・個別 51回 175人 計 63回 延べ396人	小規模事業者	指標	集団指導延参加人数 (達成度 133.9%)	指標	個別指導延参加人数 (達成度 91.1%)	集団指導ではオンライン受講が可能なハイブリット開催を基本とすることで利便性を高め、個別指導では小規模事業者の相談に的確に対応することで経営改善が図られた。	総合評価	A	実態評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	目標①については達成したため、現行どおり実施する。目標②については、達成できなかったが、新たなテーマを追加した目標を上げる。
部会・委員会事業	地域総合経済団体である商工会議所の一翼を担う部会・委員会活動を指導することにより、経営改善の推進及び地域の振興活性化を目指す。	・部会事業 16回 (工業・商業・観光サービス・建設・金融・交通運輸) ・委員会事業 10回 (運営・中小企業・広報・雇用労働)	小規模事業者	指標	部会・委員会事業実施件数 (達成度 130.0%)	指標	(達成度 %)	業界向けセミナーや雇用対策事業に加え、一部部会主催の視察会を開催することができ、各業界の振興が図られた。	総合評価	A	実態評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	目標①については達成したため、現行どおり実施する。
若手後継者育成事業	経営に必要な知識習得や資質向上を図るための講習会、研修会を開催する。運営方針等組織活動に対する指導を通じて、部員の育成及び地域の振興活性化を支援する。	・青年部・女性会等資質向上研修会 3回 116名 ・青年部・女性会等資質向上研修会 満足度 91% ・青年部・女性会商工会議所全国大会参加	青年部・女性会の小規模事業者	指標	青年部・女性会等研修会参加者数 (達成度 116.0%)	指標	満足度調査(満足度 %) (達成度 113.8%)	伝え方や自己防衛、地域密着企業の在り方等を学ぶセミナーを開催することで、部員や若手後継者の経営に関する資質向上を図ることができた。	総合評価	A	実態評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	目標①については大きく達成したため現行どおり実施する。②については、達成できなかったが、現行どおり実施する。
地域振興事業	ウィズコロナにおける安城七夕まつりを市民向けに開催し、エリア内外の店舗集客に繋げる。新型コロナウイルスの影響に伴う経済対策としてプレミアム商品券事業を実施し市内事業者の販促支援の支援をする。	・第69回安城七夕まつり令和4年8月5、6、7日 市民を中心とした来場者 23万人 ・プレミアム商品券参加事業所数 814社	小規模事業者	指標	来場者数 (達成度 121.1%)	指標	商品券参加事業所数 (達成度 101.8%)	安城七夕まつりは一部縮小開催したが、エリア周辺店舗のPRをすることで、販売促進に繋がった。一方、プレミアム商品券事業では多くの登録店の利用促進を図ることで経済の支えができた。	総合評価	A	実態評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	目標①については大きく達成したため現行どおり実施する。②については展示会EXPO ANJOの開催による出展社数に変更する。
商店街・街づくり事業	地域活性化、集客力向上につながる魅力あるイベントを開催する。商店街振興・街づくりを通して地元事業者の活性化を支援する。	・まちづくり会社が実施するイベントの支援 6回	商業・サービス業の小規模事業者	指標	イベント開催回数 (達成度 100.0%)	指標	(達成度 %)	まちづくり会社が実施するホコ天等を支援することで中心市街地の賑わい創出に繋がった。	総合評価	A	実態評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	目標①については達成したため現行どおり実施する。新たに目標②としてまちづくりの開催に伴う参加事業所数を加える。
産業活性化事業	市のコーディネーターと連携した製造業支援による交流会を開催することで、地域産業の活性化と新産業の創出を目指す。	・安城ものづくりネット 2回 36人	製造業の小規模事業者	指標	交流事業参加企業数 (達成度 72.0%)	指標	(達成度 %)	毎回テーマを決めた研修と参加者の交流会を開催することで、参加者間の情報共有やマッチングもすることができた。	総合評価	C	実態評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	目標①については達成できなかったが、事業の必要性を鑑みテーマ等の再検討した上で現行どおり実施する。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。

2022年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 安城商工会議所

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価												備考			
				目標①			目標②			得られた効果		ABCD評価					今後の展開・改善点等		
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足		目標①	目標②	
経営強化事業	新規事業の創出とネットワーク強化のための会員相互の情報交換会、商談会の開催、並びに団体を支援することで企業の発展を目指す。	・会員交流事業 2回 30社 ・商談会事業 2回 12社 ・青色申告会、法人会、労働基準協会への支援	小規模事業者	指標	交流事業参加企業数 (達成度 100.0 %)	指標	商談会参加企業数 (達成度 80.0 %)	事業者間のマッチング機会を提供する交流事業を開拓し、人脈構築や販路開拓に繋がった。商談会では、製造業を中心に事業者の商談機会を提供することができた。		総合評価	A	事業実施評価	自己評価 A	調査結果 A	満足度	補足	目標①	目標②	目標①については達成したため現行どおり実施する。②については、達成できなかったが、事業者の周知を強化し、現行どおり実施する。
				目標数値	30	実績数値	30	目標数値	15	実績数値	12			必要性	A		現行どおり	現行どおり	
													B	A			現行どおり	現行どおり	
調査・広報事業	市内企業の現状を把握し、地域経済動向分析のための定期景況調査を実施する。新商品等のマスメディアへの露出機会提供による、需要開拓支援を実施する。	・市内定期景況調査 400社(100社×4回) ・プレス発表会 6社	小規模事業者	指標	定期景況調査回答数 (達成度 100.0 %)	指標	プレスリリース企業数 (達成度 60.0 %)	市内の各業種ごとの景況調査を行うことにより地域経済の動向を把握できた。また新たな取組や新商品の情報を地元メディアに提供することで販路拡大の契機にすることができた。		総合評価	B	事業実施評価	自己評価 B	調査結果 B	満足度	補足	目標①	目標②	目標①については達成したため現行どおり実施する。②については、達成できなかったため、メディアへの提供方法等を変更する。
				目標数値	400	実績数値	400	目標数値	10	実績数値	6			必要性	A		現行どおり	変更する	
													B	A			現行どおり	変更する	
雇用促進事業	市内企業の経営・雇用の持続的な安定を図るための新卒並びに中途採用のための企業説明会等を実施する。	・合同企業説明会等の雇用促進事業 4回 54社 ・企業説明会ANJOBの開催 1回 17社 ※新型コロナウイルス感染拡大のため開催回数減少	小規模事業者	指標	雇用促進事業参加企業数 (達成度 67.5 %)	指標	ANJOB参加企業数 (達成度 42.5 %)	企業の求人ニーズや学校の就職活動を両者に提供することで円滑な採用活動の支援を目指したが、一部コロナの影響により開催回数や小間数を減少させるなどの対策を行った。		総合評価	C	事業実施評価	自己評価 C	調査結果 C	満足度	補足	目標①	目標②	目標①②については大きく達成できなかったため、目標を下げる。
				目標数値	80	実績数値	54	目標数値	40	実績数値	17			必要性	B	新型コロナウイルス感染症により一部事業中止	下げる	下げる	
													C	A			現行どおり	現行どおり	
福利厚生事業	小規模企業者の健全な経営と雇用確保のための各種共済制度の普及による福利厚生の充実を図る。	・たなばた共済加入促進キャンペーンの実施 ・福利厚生事業加入者数 3,006人	小規模事業者	指標	共済制度加入者数 (達成度 95.4 %)	指標	(達成度 %)	共済制度加入キャンペーンにより雇用確保のための福利厚生の充実を目指し制度の活用などを周知することで経営ならびに雇用の安定に繋がった。		総合評価	B	事業実施評価	自己評価 B	調査結果 B	満足度	補足	目標①	目標②	目標①については達成できなかったため、実態に合わせた目標に設定する。
				目標数値	3,150	実績数値	3,006	目標数値		実績数値				必要性	A		下げる		
													B	A			現行どおり		
労働保険事業	事業主の委託を受けて労働保険料の申告納付、各種届出等の手続きを代行することによる、小規模事業者の労務事務処理の改善を図る。	・労働保険の事務代行及び各種助成金制度等の啓蒙 ・労働保険事務組合委託事業所数 316社	小規模事業者	指標	委託事業所数 (達成度 100.3 %)	指標	(達成度 %)	小規模事業者の労働保険事務処理の負担軽減に繋がるとともに、未加入者に対する労働保険義務を周知できた。		総合評価	A	事業実施評価	自己評価 A	調査結果 A	満足度	補足	目標①	目標②	目標①については啓蒙等において会談所での役割を果たしたため、廃止する。
				目標数値	315	実績数値	316	目標数値		実績数値				必要性	A		廃止		
													A	A			廃止		
検定等支援事業	地域の人材育成や雇用定着を図るため、各種検定試験を実施し資格取得の支援をする。	・各種検定試験の開催 受験者数 425人 ・資格取得のセミナー開催 1回 延117人	一般市民や小規模事業者	指標	検定試験受験者数 (達成度 72.0 %)	指標	(達成度 %)	一部の検定はコロナの影響によりオンライン試験が進んだが、企業実務が必要とされる各種検定試験を開催することで資格取得による人材育成に繋がった。		総合評価	B	事業実施評価	自己評価 C	調査結果 C	満足度	補足	目標①	目標②	目標①については大きく達成できなかったため、目標を下げる。
				目標数値	590	実績数値	425	目標数値		実績数値				必要性	A		下げる		
													C	A			現行どおり		

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付すこと。